



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 福山信三
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】新しい福音宣教
【宣教】世界宣教の日
【日本の教会】日本における諸宗教対話の推進



信仰年が開幕

2012 10・11

教皇ベネディクト16世は、2011年10月に、自発教令『信仰の門―「信仰年」開催の告示』により、「信仰年」開催を告示しました。「信仰年」は、第二バチカン公会議（1962年～1965年）開幕50周年の2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の王であるキリストの祭日に終わります。

日までシノドス（世界代表司教会議）が「キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」をテーマとしてローマで開催されます。



また、2012年10月11日という「信仰年」開始日は、「カトリック教会のカテキズム」発布20周年を記念する日でもあります。「カトリック教会のカテキズム」は、信仰の力とすばらしさをすべての信者に示すために、福者ヨハネ・パウロ二世教皇が発布しました。同時にこの10月7日から28



ドミニコ宮原良治司教霊名の祝い
8月8日（水）、ドミニコ宮原良治司教の霊名の祝いが司祭、神学生、修道者、信徒など200余人が集いカテドラルで行われた。宮原司教は、ミサの中で聖ドミニコが活躍した時代にふれ、「多くの異端で教会が混乱する時、聖ドミニコはキリストの福音、キリストの真理をいたると

す。...キリスト信者はしばしば自らの活動の社会的・文化的・政治的結果に関心を向けます。そして、信仰を社会生活の当然の前提と考え続けます。実際には、この前提は当然のものではなく、しばしば公然と否定されています。(2) 過去においては、統一的な文化状況を見いだすことが可能でした。信仰の内容と、信仰から靈感を受けた価値観に訴えることも広く受け入れられていました。しかし、現代においては、社会の広い分野において、同じことをいえることはできません。信仰の深刻な危機が多くの人々に影響を及ぼしているからです。」(「信仰の門」)と述べて前回の信仰年とは異なる状況、社会事情を踏まえて「信仰の危機」という言葉を使い、新しい福音宣教という観点から、宣教的な意味でこの信仰年を行うといわれます。

第2回司祭評議会
年間行事など決議
9月11日に司教館で開催。第1の議題は、「信仰年の教区として取組み」で、10月14日（日）、主日のミサにおいて各小教区で信仰年開幕のミサを行うこととなった。また、信仰年の間、教区全体で新たな企画や、行事を行うのでなく、現在行っているものを充実させ、聖書を学ぶ等も含め、信仰を深めていく

私の名前は萩原直人です。私の霊名はミカエルです。出身教会は今村教会です。今、私は高校1年生として長崎南山高校に通いながら、長崎カトリック神学院で生活しており、その生活もすでに4年半が過ぎています。なぜ私がこのような生活を歩み出したのかを確認した。

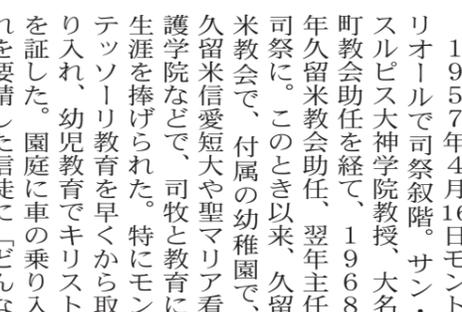
かというところ、きっかけがあったかどうか分かりません。私たち一人ひとり、常に神さまからの召命のお恵み、呼びかけを受けています。もし私に何かこの道を歩み出したきっかけがあるとすれば、それは私自身が今、神さまからの呼びかけ「神学生になる」ということで応えられたことだと思えます。このように神さまからの呼びかけに応えたい私はこれからは司祭を目指し、その呼びかけにこたえたいと思っています。そして、将来私は困っている人々のそばに一緒にいてあげられる神父様になりたいと思います。お祈りして下さい。これからも神学生として頑張っていきたいです。今村教会出身小神学生

福岡教区小神学生が練成会
「みなさんの支えに感謝しています」
8月8日（水）の午後から9日まで、長崎の小神学校で学んでいる6人（内1人欠席）の教区神学生が司教館で練成会を行った。練成会では、招いた宮原司教がずっと同伴し、神学生養成担当の谷口尚志神父が指導にあたった。閉会の間際、小神学生にインタビューを行った。文責 編集部

ユスチノ
三村邦明神父帰天
8月20日午前0時1分、三村邦明神父様は入院先の聖マリア病院（久留米市）で帰天。享年87歳。1957年4月16日モンテリオールで司教叙階。サン・スルピス大大学院教授、大名町教会助任を経て、1968年久留米教会助任、翌年主任司祭に。このとき以来、久留米教会で、付属の幼稚園で、久留米信愛短大や聖マリア看護学院などで、司牧と教育に生涯を捧げられた。特にモンテソリー教育を早くから取り入れ、幼児教育でキリストを証した。園庭に車の乗り入れを要請した信徒に「どんな小さな輪だちの跡でも、園児がケガをするかもしれないから駄目だ」と言う言葉は語り草、というほど三村神父の幼児教育への思いは熱かった。21日（火）、カテドラルでの葬儀ミサ、告別式は宮原司教の主式で、多くの司祭、修道者、信徒が参列。病室に最後まで付き添った浦川務神父（久留米教会主任）と久留米教会信徒の中島幸男氏がお別れの言葉を述べた。



25日、27日
▽教区邦人司祭黙想会 10月28日、11月1日
▽8月と11月の納骨堂での司教式ミサについては、平田三好神父と山元眞神父で調整する、などが決議された。



して、将来私は困っている人々のそばに一緒にいてあげられる神父様になりたいと思います。お祈りして下さい。これからも神学生として頑張っていきたいです。今村教会出身小神学生

マルティノ二枢機卿が8月31日、帰天された。ミラノの大司教として20年以上務められ、イタリア国民にも広く愛された。また聖書学者として、み言葉を分かりやすく解説され、師の言葉に多くの人が耳を傾けた。最晩年のインタビューがイタリアの新聞に掲載され、それを日本の有力紙も報じた。枢機卿は語る。「教会は2000年程も時代から取り残された。官僚組織が肥大化し、儀式と服装ばかりが仰々しい。我々の文化は年老いた。教会は大きいのが中身は空っぽだ。『福者ヨハネ・パウロ二世前教皇の後任と目されていた枢機卿が歯に衣を着せぬ表現で、現代の教会を批判する。小生にとつて心に響いたのは次の点である。疲弊した教会に対するアドバイスとしてという質問に「第1は回心。教皇や司教が先頭に立って、自らの過ちを認め、変革への道を歩み出すべきだ。第2にみ言葉に聖書の重要性。心のみ言葉を受け入れる人だけが、教会の刷新を助ける。法や教義は人の内的いのちの代わりにはならず、内的な声を明らかにし、霊を識別するために与えられているに過ぎない。第3は秘跡。秘跡は誰のためにあるのか。教会は、結婚の不可解性を擁護するが、人生の弱さの中にある人々、例えば離婚し、再婚された方またその家族こそ教会は守るべきではないか。彼らを切り捨てるとすれば、その子どもたちや孫までも教会から離れ、結果的に次の世代を担う人々を失うことになる」と。枢機卿の言葉は、現代の教会が熟考し、取り組むべき多くの課題が提起されていると思う。

マルティノ二枢機卿が8月31日、帰天された。ミラノの大司教として20年以上務められ、イタリア国民にも広く愛された。また聖書学者として、み言葉を分かりやすく解説され、師の言葉に多くの人が耳を傾けた。最晩年のインタビューがイタリアの新聞に掲載され、それを日本の有力紙も報じた。枢機卿は語る。「教会は2000年程も時代から取り残された。官僚組織が肥大化し、儀式と服装ばかりが仰々しい。我々の文化は年老いた。教会は大きいのが中身は空っぽだ。『福者ヨハネ・パウロ二世前教皇の後任と目されていた枢機卿が歯に衣を着せぬ表現で、現代の教会を批判する。小生にとつて心に響いたのは次の点である。疲弊した教会に対するアドバイスとしてという質問に「第1は回心。教皇や司教が先頭に立って、自らの過ちを認め、変革への道を歩み出すべきだ。第2にみ言葉に聖書の重要性。心のみ言葉を受け入れる人だけが、教会の刷新を助ける。法や教義は人の内的いのちの代わりにはならず、内的な声を明らかにし、霊を識別するために与えられているに過ぎない。第3は秘跡。秘跡は誰のためにあるのか。教会は、結婚の不可解性を擁護するが、人生の弱さの中にある人々、例えば離婚し、再婚された方またその家族こそ教会は守るべきではないか。彼らを切り捨てるとすれば、その子どもたちや孫までも教会から離れ、結果的に次の世代を担う人々を失うことになる」と。枢機卿の言葉は、現代の教会が熟考し、取り組むべき多くの課題が提起されていると思う。

マルティノ二枢機卿が8月31日、帰天された。ミラノの大司教として20年以上務められ、イタリア国民にも広く愛された。また聖書学者として、み言葉を分かりやすく解説され、師の言葉に多くの人が耳を傾けた。最晩年のインタビューがイタリアの新聞に掲載され、それを日本の有力紙も報じた。枢機卿は語る。「教会は2000年程も時代から取り残された。官僚組織が肥大化し、儀式と服装ばかりが仰々しい。我々の文化は年老いた。教会は大きいのが中身は空っぽだ。『福者ヨハネ・パウロ二世前教皇の後任と目されていた枢機卿が歯に衣を着せぬ表現で、現代の教会を批判する。小生にとつて心に響いたのは次の点である。疲弊した教会に対するアドバイスとしてという質問に「第1は回心。教皇や司教が先頭に立って、自らの過ちを認め、変革への道を歩み出すべきだ。第2にみ言葉に聖書の重要性。心のみ言葉を受け入れる人だけが、教会の刷新を助ける。法や教義は人の内的いのちの代わりにはならず、内的な声を明らかにし、霊を識別するために与えられているに過ぎない。第3は秘跡。秘跡は誰のためにあるのか。教会は、結婚の不可解性を擁護するが、人生の弱さの中にある人々、例えば離婚し、再婚された方またその家族こそ教会は守るべきではないか。彼らを切り捨てるとすれば、その子どもたちや孫までも教会から離れ、結果的に次の世代を担う人々を失うことになる」と。枢機卿の言葉は、現代の教会が熟考し、取り組むべき多くの課題が提起されていると思う。

マルティノ二枢機卿が8月31日、帰天された。ミラノの大司教として20年以上務められ、イタリア国民にも広く愛された。また聖書学者として、み言葉を分かりやすく解説され、師の言葉に多くの人が耳を傾けた。最晩年のインタビューがイタリアの新聞に掲載され、それを日本の有力紙も報じた。枢機卿は語る。「教会は2000年程も時代から取り残された。官僚組織が肥大化し、儀式と服装ばかりが仰々しい。我々の文化は年老いた。教会は大きいのが中身は空っぽだ。『福者ヨハネ・パウロ二世前教皇の後任と目されていた枢機卿が歯に衣を着せぬ表現で、現代の教会を批判する。小生にとつて心に響いたのは次の点である。疲弊した教会に対するアドバイスとしてという質問に「第1は回心。教皇や司教が先頭に立って、自らの過ちを認め、変革への道を歩み出すべきだ。第2にみ言葉に聖書の重要性。心のみ言葉を受け入れる人だけが、教会の刷新を助ける。法や教義は人の内的いのちの代わりにはならず、内的な声を明らかにし、霊を識別するために与えられているに過ぎない。第3は秘跡。秘跡は誰のためにあるのか。教会は、結婚の不可解性を擁護するが、人生の弱さの中にある人々、例えば離婚し、再婚された方またその家族こそ教会は守るべきではないか。彼らを切り捨てるとすれば、その子どもたちや孫までも教会から離れ、結果的に次の世代を担う人々を失うことになる」と。枢機卿の言葉は、現代の教会が熟考し、取り組むべき多くの課題が提起されていると思う。

世界の宗教者が比叡山で平和を祈る



去る8月3日(金)から4日(土)にかけて比叡山宗教者サミット25周年記念「世界宗教者平和の祈り」の集

教師を招いて「平和の祈り」をささげた折、その招待を受けて参加した比叡山の天台座主山田恵諦が、仏教者もこのような集いを率先して実行すべきであるとの確信を得たことに始まります。

師は、翌年以降は、比叡山において同様の「宗教者世界平和の祈りの集い」を開催することにしました。「継続は力なり」との信念にもとづいて、比叡山はこの「集い」を毎年開催し、今年25周年を迎えました。

ヨハネ・パウロ二世の意思に賛同して始まった比叡山宗教者サミットですが、毎回パチカンからの代表者参加を求められています。今年、教皇庁諸宗教対話評議会から同局長トラン枢機卿に代わり、諸宗教評議会

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

名譽局長ルイジ・チェラータ大司教、駐日パチカン大使ジョセフ・チェノットウ大司教、京都教区長大塚喜直司教が出席しました。その随行員として真命山からシスター・マリア・デ・ジョルジ、園田善昭神父が参加しました。

8月3日、「自然災害と人間の文明」と題して梅原猛哲学者・東日本大震災復興構想会議特別顧問の記念講演がありました。天台本覚思想草木国土悉皆成仏を本流とする日本の文明の特性に基づいて、比叡山は「集い」を毎年開催し、今年25周年を迎えました。



「宗教者の使命〜自死をめぐって〜」シンポジウム。最後は福岡でシンポジウム

9月17日、台風16号の影響により、時折突風も吹き荒れる中、カトリック司教協議会諸宗教部門主催による自死についてのシンポジウムが、宗教者の使命〜自死をめぐってと題して、カテドラルにて開催された。

パネリストは、神道の立場から三橋健師、禅曹洞宗から中山義紹師、浄土真宗から井上博隆師、そしてカトリックの立場から宮原良治司教の4人が登壇した。

次に中山師は、釈迦の死生観を紹介した後、現代は仏教が盛んになった戦乱の鎌倉時代ほど人間の生存が脅かされることはないが、生きることに不安、自己の存在を認めてもらえないといった不安がある。このような中で不安と向き合い、どう克服していくかが宗教者としての自分の使命だと語った。

最後に宮原司教は、人の命は神との関わりでのみ受け止められる、人の命は神から授けられたものであり、命の真の所有者は神である。また、自死とは自分の意志で命を終わらせる行為、と定義されるが、病気の人が、自ら死に向かおうとするとき、明確な意志、すなわち自ら判断し決定する能力があるか疑問であり、難しい問題であると語り、教会の教えや教会法の教えを紹介した。会場からは、死にたいと考えている人々にどのように接するべきかや、自死した人々の遺族に対するケアについてなどの質問が出され、参加者の多くが、何らかの形でこの問題に直面していることを感じさせた。

「信仰年」を旅するために 歴史的な観点から 平田敬神父

信仰年が始まりました。この1年、教区内の多方面の方々に寄稿していただき、教会の現状を把握し、次の世代に何をどのように伝承すべきかを考えていきます。第1回目は、教区総代理の平田敬神父です。

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福



「僕にとつてこれが一番信じられるもの」をテーマに、8月20日から22日まで日本カトリック神学院福岡キャンパスで夏季召命学校を開催。古賀、久留米、飯塚の各教会から6人の参加者があった。

参加した小神学生や各参加者がまず、「信じられるもの」と信じられないもの」を挙げ、次にそれぞれの共通点を確認し、信じられないものをも信じることで自分を探そうという流れで行った。

途中、実在の医師が医学生時代に体験した信じられるものと信じられないものが共存する現実で、真実を探求する

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

「開かれた教会」を目指してアジールナメント(今日化)の名のもとに社会と遊離した当時の教会の改革のために開催されたのが第2パチカン公会議(1962年〜1965年)です。そこで着手されたのが、初代教会をモデルとした宣教共同体づくり(福音化)でした。教会刷新のためにまず「典章憲章」を、社会の福音化のために他の憲章と「現代世界憲章」を最後にまとめて指針としています。当時の教会は、この急激な改革に戸惑い、新しい教会、典章像、信仰の捉え方などが解らず右往左往。他方、教育、福

ちゅっぺー 一息 *押し花に秋をはさんだ日記帳

ついに来た長生きするというカード 坂牧春妙

押し花に秋をはさんだ日記帳 深堀正平

祈るために・休むために・学ぶために カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

ミサ用ワイン VINO DE MISA

草苑 カトリックのご葬儀

を福岡 平祈い 橋本さんに聞く：原発被災者はいま



8月11日(土)、カテドラル大名町教会で、福岡地区信徒協主催の2012年度平和祈問行事としての『平和を祈る集い』が開催された。

今年度は、テーマ『司教団メッセージ』を以て、原発の廃止を『に学ぶ』で、第一部は谷大二司教(さいたま教区)講話、第二部は橋本薫さん(原発被災者)に聞くの二部構成。福島産の果物、野菜、ジュースなどの販売も合わせて行われた。

谷司教は、福島第一原発事故に対しての昨年11月の司教団メッセージは、1999年のJCOウラン臨界事故の際

典例シリーズ ⑥

【質問】
「司祭が、ミサの中で、奉納のとき、ぶどう酒に水を少し入れる意味は、ぶどう酒を祭壇に供える前に、少量の水を注ぐことになっていませんか？」
【質問に答えて】
①ぶどう酒に水を入れる意味—司祭は、ぶどう酒を祭壇に供える前に、少量の水を注ぐことになっていませんか？」

ル人がぶどう酒に水を入れて薄めて飲んでいく習慣に由来すると考えられています。なお現在もミサの中に残されているのは、ぶどう酒を薄めて飲むという実目的の目的のためではなく、しるしとしての用途のためです。

このしるしの意味について、トリエント公会議の第22総会は、次のように説明しています。「これはキリストが行ったと信じられている、またキリストの脇腹から血と水が流れ出た(ヨハ19:34)からであり、この混合によって聖なる秘儀が思い起こされるからである。また、ヨハネ

の黙示録によれば「水」は「人々」であり(黙17:15)、信じる民と頭であるキリストとの一致の象徴である(『カトリック教会文書資料集』174頁)。
この公会議の教えにあるように、イエスの脇腹から流れ出た血と水は、イエスご自身が十字架で奉獻されたことによつて、人間にもたらした下された洗礼(「水」と聖体(「血」)の秘跡の恵みを象徴的に表わしています。すなわち、洗礼によつてキリストの霊を受けた人々が、聖体拝領によつてキリストの復活のいのちにあずかることを示し

ています(フランシスコ会聖書訳注『ヨハネによる福音書』239頁参照)。また、司祭は、ぶどう酒に水を注ぐとき、「この水とぶどう酒の神秘によつて、わたしたちが人となられた方の神性にあずかることができよう」という祈りを唱えることになっていきます。これも同様に、水によって表されている人間が、ぶどう酒によつて示されるキリストの神性、すなわち永遠のいのちにあずかることを願うものです。

2002年に3月に公布された新しい『総則』(第3版)の83番に、ぶどう酒(御血)にホステアの一片を入れるのしるの意味が新しく加えられています。「司祭はパンを割り、パンの一部をカリスの中に入

れる。これは、救いの業におけるキリストのからだに血の一致、すなわち生きて栄光に満ちたイエス・キリストのからだの一致を明らかにするためである。」
このように、聖別後のぶどう酒にホステアを一片入れるしるしは、復活によるイエスの新しいからだを示すものであり、聖別されたパンとぶどう酒における、復活されたイエスの現存を私たちに教えてくれるものです。
日本カトリック神学院
院長 白浜満神父

「尊いいのち・新しい生き方を」このテーマのもと400人が北九州平和の集いに参加した。今年で12年目となったが、新たな節目となった感がする。日本カトリック平和祈問を定めた背景には、世界で唯一核兵器により被爆国となった日本の広島・長崎を忘れないとして平和への努力が日本カトリック教会の使命と位置付けたことにある。北九州平和の集いもそこからスタートした。ところが

「尊いいのち・新しい生き方を」このテーマのもと400人が北九州平和の集いに参加した。今年で12年目となったが、新たな節目となった感がする。日本カトリック平和祈問を定めた背景には、世界で唯一核兵器により被爆国となった日本の広島・長崎を忘れないとして平和への努力が日本カトリック教会の使命と位置付けたことにある。北九州平和の集いもそこからスタートした。ところが

れ、第7の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なさった」と記されている。
安息できる将来は、神から造られた私たちに任されていると強く感じた。

8月3～5日、日本カトリック神学院福岡キャンパスで『家族』をテーマにFYCC10が行われた。
「家族の大切さに気づきました」「家族にもっと感謝しよう」という声に参加者23人から聞かれた。
閉会ミサには10周年を迎える、家族を連れた先輩参加者の姿に、継続することの意味と喜びがあった。

8月25日・26日の両日、大名町教会にて九州青年キャンプin福岡を開催。テーマは「なごみ」。九州青年キャンプは、毎年、長崎教会管内の教会持ち回りで開催され、今年で10回目を迎えた青年の集まりです。今回は九州内外から50人を越える青年が集まり、教会の中で青年として何が出来るのか話し合いました。
今回は来年、長崎で行われることになっています。

テゼ共同体創始者ブラザー・ロジェは2005年8月16日に亡くなりました。この本には彼のおもな洞察と、彼が共同体の歴史の中でいかにそれらを具体的に生きたかが記されています。私たちに今も語る彼のメッセージを聞きましよう
サンパウロ 発行
税込価格 1050円

に出された司教団会長名での要望書でも、2001年の『いのちへのまなざし』21世紀への司教団メッセージ』においても脱原発を訴えられなかったとの反省も背景にあり、司教団メッセージとして『いままですぐ原発の廃止』と、全世界に向け発信したと語った。
また、この司教団メッセージを通して『神の前で謙虚になることで、人間の限界をわきまえる英知を持ち、将来に向かっているのちを大切にし平和を守って行くために、私たち一人ひとりが声を上げ行動を起こして行く事(広島、長崎そして福島を体験した日本人の責任として)』を求めていると語った。

「前田司教『いままですぐ原発の廃止』司教団の決意を伝える」
和北
平集九

昨年、原発事故が「福島も爆発させてしまった」ことにより、倫理的なそして人間の命の問題が急浮上し、司教団メッセージとつながった。このメッセージは確かに画期的なものである。私たちはメッセージを読み理解を深めることで平和の集いのテーマを熟考した。
12日当日は、午前中が地区全体の平和祈願ミサ、その後小倉教会に市民も含め人々が参集した。出店では大震災被災者支援や原発問題に関するものが目を引いた。
子どもの広場では神輿が作られ、子どもたちの平和への願いが奉納された。聖堂内では、福島の声を聞くDVDから始まり、小教区の取り組み発表がなされた。キリスト者九条の会による平和コントは笑いで好評を博した。大槌ベースキャンプで働く古木神父の飛び入り発表から、必要

10周年を迎えた青年会活動
FYCC 10
九州青年キャンプ
8月25日・26日の両日、大名町教会にて九州青年キャンプin福岡を開催。テーマは「なごみ」。九州青年キャンプは、毎年、長崎教会管内の教会持ち回りで開催され、今年で10回目を迎えた青年の集まりです。今回は九州内外から50人を越える青年が集まり、教会の中で青年として何が出来るのか話し合いました。
今回は来年、長崎で行われることになっています。

クリスチャンが「父と子と聖霊のみ名によつて、アーメン」と、わが身に刻む十字のしるし。あなたを救う、この、最短で最強の祈りのすべてを、ていねいに解き明かす。
女子パウロ会発行
税込価格 1365円

☆「十字を切る」
晴佐久 昌英 著
十字を切る
3巻、十字を切る。その巻に十字のしるし。あなたを救う、最短最強の祈りのすべて。
晴佐久昌英

格安全席/完備・無料・検査
信んでもお問い合わせください
株式会社 ジャパン・スマイルか
〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目3番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
株式会社 森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書局・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大濠2丁目大名町カトリック教会1F
平日/AM10時～PM5時40分
日・祝日/AM11時～PM4時(除日曜日)
TEL 092-741-6888 FAX 092-741-6861
URL http://www.pax-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書週間特別講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコ福音書を読む』
日時：11月11日(日) 14:00～16:00
講師：山下敦神父(大分教区)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒徒職協議会 聖書典礼部

2012年北九州地区聖書週間特別講座

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコに導かれて～
日時：11月18日(日) 14:00～16:30
テーマ：生活の中でのマルコ
講師：森山 信三 神父(西新教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部

2012年 熊本地区神学講座

第2回：第1回講座『福音としてのキリスト、福音としての教会』の振り返り・分ち合い
日時：10月21日(日) 13:30～16:30
会場：カトリック手取教会
参加費：無料(前回からの連続)
*申込先：FAX:096-352-1515 岸

聖書に集う会

日時：2012年10月9日(火) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

震災のための祈りのリレー

日時：10月11日(木) 10:30朝の祈り～19:30夕の祈り(テゼの祈り)
場所：伊都キリスト教会(今宿駅下車すぐ)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

神と出会う イエス・キリストと出会う 自分と出会う

カトリック通信講座

講座名：
/T001 キリスト教とは /T002 聖書入門〔I〕
/T003 キリスト教入門 /T004 神・発見の手引
/T005 聖書入門〔II〕 /T006 幸せな結婚
/T007 生きること・死ぬること
受講料：
T001～T004 4500円/T005～T007 5000円
*お申込みは郵便局の振替用紙にご希望の講座名・講座番号(T001～T007)をご記入のうえ、受講料を下記にお振込みください。
振替口座番号：00170-2-84745
加入者名：オリエンズ宗教研究所
<お問い合わせ・お申し込み>
オリエンズ宗教研究所 カトリック通信講座
Tel:03-3322-7601 Fax:03-3325-5322

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第12回

日時：2012年10月28日(日) 16時～18時
場所：カテドラル大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分ち合い)
講師：G. ミシェル神父(箱崎教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

いよいよ信仰年が始まりました。この1年間、教区内の様々な立場の皆さまに寄り添い、お祈りし、信仰年を過ごしていただきたいと思っております。この年が教区の皆さまにとって、恵みの年、信仰を見直し、また新たな発見をする年になり、また新しい一歩を踏み出される年、また、10月から開催されるシノドスの実りとともに祈りたいと思います。

編集後記

和墓地一般清掃日お知らせ

日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。

2013年 カトリック教区カレンダー

昨年好評だった東日本大震災復興支援チャリティーカレンダー「北に祈る」は、今年は福岡教区・仙台教区・さいたま教区・横浜教区・新潟教区の5都府県を制作いたしました。1冊購入していただく1,000円がカトリックジャパンと仙台教区の被災地支援活動のために寄付されます。
●ご注文方法 フォックス・電話またはイー・ピックスのホームページ(e-pix.co.jp)にてご注文ください。郵次やメールアドレスを記載いたします。
●お支払い方法 お支払いは商品と同封の郵便払込用紙にて後払いとなります。[送料手数料は弊社負担]

イー・ピックス出版
1,000円
好評発売中! 各2000部限定
販売価格1部/2,000円
TEL:0182-26-3334 FAX:0182-26-3344
URL: http://www.e-pix.co.jp E-mail: contact@e-pix.co.jp

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
TEL:0942-35-3322(代表)
FAX:0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
[集合]2日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金]28,000円
◆20教会3日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金]148,000円
◆全54ヶ所5日間 [出発]5月20日 [旅行代金]85,000円
[旅行企画・実施] 株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

Ave Maria...
10月の休業日 7, 8, 14, 21, 28
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

案内板 会合と催し 10月のこよみ
福岡黙想の家ご案内 10月
8日(月)～15日(月) 奉献生活者のための黙想会
15日(月)～19日(金) 福岡教区司祭黙想会
20日(土) 福岡チェナクルム
27日(土)～28日(日) 聖マリア在俗会
11月
2日(金)～4日(日) 防府教会黙想会
9日(金)～10日(土) 北九州レジオマリエ黙想会
10日(土)～11日(日) 山口島根地区信者養成研修会
*個人黙想 グループ黙想 静修 研修会 セミナーなど
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。お問い合わせください。
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 瀬0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索
真命山諸宗教対話・霊性交渉センター
※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：10月11日(木) 10時～14時半
・内容：御聖体と福音の宣教
指導者：フランコ・ソットコノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交渉センター
・次回：11月8日(木) 御聖体礼拝
☎0968・85・3100 瀬0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp
カテドラルでのゆるしの秘跡
日時：10月20日、11月3日、11月17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
6日(土) ローマ出発
7日(日) 年間第27主日
シノドス出席(～28日)
†J. ノーリス [2007年八代教会]
9日(火) 召命祈願ミサ(カテドラル19時)
†K. オマホニ [2003年荒尾教会]
†E. ハトリック [2007年笹丘教会]
10日(水) 年間第28主日
14日(日) イエスの聖テレジアおとめ教会博士
大聖テレジア祝日ミサ(カルメル会修道院10時半)
教区邦人司祭黙想会(黙想の家～19日)
†フランソア徳山登 [2000年門司港教会]
16日(火) 聖ルカ福音記者
18日(木) 十字架の聖パウロ
19日(金) 年間第29主日/世界宣教の日(献金)
21日(日) 黒崎教会(聖家族の集い)/島崎教会(聖テレジア祭)/南粕屋教会バザー
†H. キニユ [2004年天神町教会]
27日(土) 年間第30主日
28日(日) 今村教会聖体行列/高宮教会バザー/大牟田教会・幼稚園合同バザー/茶山教会・幼稚園合同バザー/西新教会・幼稚園合同バザー
30日(火) 11月
1日(木) 諸聖人/伊万里トラピスト修道院 盛式誓願式
2日(金) 死者の日/初金ミサ(浄水通教会10時)
3日(土) 召命の集い(神学院福岡キャンパス)
4日(日) 年間第31主日/水巻教会堅信式/北九州納骨堂ミサ
糸島教会バザー/古賀教会バザー
司祭評議会
カトリック大名町教会125周年ミサ(15時から)
■ゴチックは司教日程

福岡
◆聖ヨアキム&聖アンナ会(日時)10月10日13時(場所)笹丘教会(内容)ロザリオミサ聖祭(連絡先)☎090・9568・0076 野川
◆カルメル在世会集會(日時)10月15日(日)10時半(場所)福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話(指導)カルメル会司祭(問合せ先)☎097・551・1360(中林)
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)10月16日(火)11時(場所)聖クララ寮(内容)聖母賛歌他(問合せ先)☎096・380・5686 堺敬子
◆福岡地区カトリック女性の黙想会(日時)10月20日(土)10時(場所)司教館5階(講師)田尻由貴子(慈恵病院看護部)
◆美野島司牧センター(参加費)5000円/弁当5000円(要予約)(連絡先)☎092・933・6741 角田(締切)10月14日
◆聖マリア在俗会(案内)(日時)10月28日(土)10時(場所)福岡黙想の家(テーマ)在俗奉獻という生き方(講師)ダシオ・ブルーノ神父(神言会)(参加費)10000円(申込先)☎06・4398・2236 高崎恵子
◆こひつじ会(精神障害者と)

北九州
◆北九州召命を共に祈る会(日時)10月11日(木)14時(場所)カトリック黒崎教会(内容)ミサとミレーティング(指導)谷口尚志神父(新田原教会協働司祭)(連絡先)☎0949・244・9905 藤井
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)10月18日(木)11時(場所)健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
◆佐賀祈りの集い(日時)11月3日(土)10時(場所)毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎095・2・30・8347 吉武

熊本
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)10月18日(木)11時(場所)健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
◆佐賀祈りの集い(日時)11月3日(土)10時(場所)毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎095・2・30・8347 吉武

和墓地一般清掃日お知らせ
日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。

和墓地一般清掃日お知らせ
日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。

和墓地一般清掃日お知らせ
日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。

和墓地一般清掃日お知らせ
日時：10月21日(日) 9時(28日予備日)
ミサ：11時30分
*ご協力をおねがいします。
◆死者のためのミサ
日時：11月11日(日) 14時
*納骨の手続きは2週間前までに、各教会の納骨委員にお尋ねください。